

11/13
(金)

新風塾が景観講演会 資源の有効活用で町おこし



町おこしの担い手として親睦を深めた塾生ら

11月13日、長島新風塾は民宿夕暮荘で第一工業大学の石田尾博夫名誉教授を講師に招き、「景観アドバイザーと語る会」を開きました。

これは景観形成について助言や指導する県の景観アドバイザー事業を利用して開催。塾生らは外から見た長島町の特徴や景観を生かした交流人口拡大など景観アドバイザーからの説明に耳を傾け、地域活性化へのアイデアを語り合いました。

下塩見浩塾長は「長島の資源を生かしながら皆さんと協力して町おこしに取り組みたい」と気を引き締めました。

11/13
(金)

自衛隊施設誘致推進協が発足 地域活性化、防災に必要



自衛隊施設誘致実現を目指す会員ら

長島町自衛隊防衛施設誘致推進協議会設立総会が11月13日、町商工会であり、関係者約20人が出席しました。

会では、発起人代表の木場盛二会長が「町が人口減少で衰退しているのをただ見ているわけにはいかない。町一体で誘致をアピールしていけば打開できる」とあいさつ。このほか、規約の承認や役員選出、町への請願書提出などが決議されました。

自衛隊施設誘致で、地域活性化や災害発生時の迅速な支援協力、インフラ整備、交付金などが期待されます。同協議会は今後さまざまな活動を通して誘致への機運を高めていく予定です。

11/15
(日)

城川内小が創立150周年 先人を敬いバトンつなぐ

11月15日、城川内小学校（海江田徹男校長・94人）で創立150周年記念式典が開かれ、児童や歴代校長、地域住民などが往時をしのび伝統継承を誓いました。

約115人が出席した式では、実行委員長の大堂充博さんが「立派な先輩がたのようにこれからもふるさとを愛する人として城川内小の歴史のバトンをつないでほしい」とあいさつ。5、6年生による1870年開校からの児童数の推移や校舎の変遷など、児童の発表があり、温かい拍手が送られました。

このほか、会場内に過去に収めた学校生活の写真展示や校庭に建立した記念碑の除幕式が執り行われ、節目を祝いました。



3、4年生による発表「私たちの長島町、そして未来の夢」